

キックオフ
News

富田林市議会議員

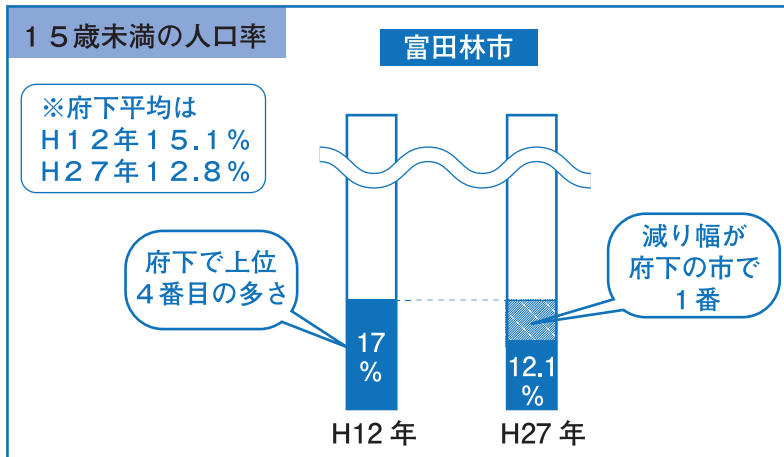
なんざい 哲平 VOICE

発行元 とんだばやし未来議員団
 住所 〒584-8511 富田林市常盤町1-1
 TEL 0721-25-1000(内線 231)
 FAX 0721-25-9005
 H.P. 検索

15歳未満の人口減少率が府下一番 ～人口減少対策は待ったなし!!～

『超高齢社会』に突入する2025年問題を目前とし、高齢者の方々の普段の生活を支えていくための課題対策が全国的に急務となっております。そのような中、本市の人口は平成14年をピークに翌年以降は減少を続け、現在ではピーク時から比較し1万人以上が減少しております。その原因を検証し、対策を練ることを目的に本会議において一般質問を行いました。

※ここで掲載した議会質問・答弁内容は公式のものではありません。内容が長文になるため、また少しでもお伝えしやすい様に省略等してあります。公式議事録は議会ホームページにアップされる予定ですのでそちらからご覧ください。



近隣市へ人口流出がつづく現状への対応が急務

図のように、15歳未満人口率の下げ幅は府下の市で一番。その要因として、25歳から34歳の人口流出が考えられます。本市が策定した「人口ビジョン」で示されている過去5年間における転出先・転入元一覧では、トップ5が大阪市・堺市・河内長野市・大阪狭山市・羽曳野市であり、いずれの自治体においても、本市への転入より本市からの転出が多くなっています。これは、本市が選ばれずに、かわりに隣接の他市へ人口がどんどん流出してしまっているという大変残念な結果です。

本市から転出された方へのアンケート結果を見ると、転出時に引越し先を決める上で重要視した点では、「通勤通学の利便性」を除くと「住宅事情」が大半を占めています。その事から近隣3自治体と本市との住宅環境を比較した検証が人口減少の要因を探るには必要です。

さらに、子育てに特化した施策展開の規模や内容の差などもあわせ、徹底的に検証すべき必要があります。以上のことから以下の点を聞きました。

人口減少と就業先の関連について

Q 質問 人が住みかを決める上で就業先が大きな一つの要因となっていることが推測できることから、本市においてその確保に関してどのような課題認識を持ち、対応策を練っているのか。

想いを直送～みなさんの声を届けます～

保育園からの紙おむつの持ち帰りをなくしてほしい！

私のもとにたくさんの保護者の方々から「保育園から帰るときに使用済の紙おむつを持って帰るのを何とかして欲しい」その様なご意見やご要望が常々届いておりましたので、9月に行われた決算審査の場におきまして、その実現を提案しました。

結果、紙おむつを園で処分した場合、大きな予算が必要ということでも無く、また保育士の方々に大きな負担が増えることなく、保育上においても問題ないとのことで今すぐにでも実施できるのではないかと手応えを感じています。

また、近隣市の河内長野市、羽曳野市、藤井寺市、松原市、大阪狭山市でも未だ実施しておらず、富田林市として子育て応援施策の進んだ取り組みを実現する非常に良い機会だと思います。

「プラスチック製容器包装ごみ」収集の回数を増やしてほしい！

- 10月15日、ある幼稚園の保護者の皆さんが「市立幼稚園・保育所のあり方基本方針（素案）」に反対する署名（4,134筆分）を提出するたために市役所を訪問されました。
- 私は、以前よりこの幼稚園（他の園もですが）の保護者の皆さんから、この件に関してのご相談やご意見等々を伺っておりましたので、その場に同席いたしました。
- 約1時間にわたり、それぞれの皆さんが素案の内容により起こっている混乱、先行きの不安感などを副市長、教育長に対し訴えておられました。
- 少子高齢化の中、子どもがたくさん居た時代とは同じようにいかないということは誰もが分かっていることです。それでもできる限りの事を尽くし、子どもたちや、その保護者の傍らに寄り添い続け